

南海トラフの巨大地震では、宮崎県内の被害は最大で死者は1万5千人、8万棟の建物が全壊し、避難者は30万人以上に上ると試算されています。難病患者に対する災害対策は、地域協議会を中心に整備しているところですが、万全とはいえません。災害について見識を深め、より実効性の高い災害対策に繋がればと思います。



## 講演① 宮崎県における難病医療提供体制について

宮崎県では、難病患者の早期診断、身近な医療機関での医療の提供等を行うための医療提供体制の整備や、地域における患者等の支援対策の推進に取り組んでいます。今回は宮崎県の難病患者支援における具体的な取り組みについてご説明します。


## 講演② 「南海トラフ地震・日向灘地震に備えるための基礎知識」


大地震が発生した際にどういう現象が起こるのか、またどのような情報が出てどう受け取れば良いのかについて、まずは正しく理解する事が重要です。命を守るための地震の基礎知識と、令和6年8月8日の地震後に、初めて発表された南海トラフ地震臨時情報について講演していただきます。

## 講演③ 「国立病院機構宮崎東病院における風水害に対する取り組みと台風避難入院の現状について」

宮崎東病院では、過去の大きな台風の際に、人工呼吸器を使用している神経難病患者さんの避難入院を受け入れました。そのシステム構築についての経過と現在の状況、また平時における風水害に対しての病院の取り組みについての講演をしていただきます。

### アクセス

 電車：日豊本線「清武駅」  
日南線「木花駅」下車  
バス・タクシー利用 15～20分

 バス：「大学病院」下車  
宮崎交通バス 811 番線  
「木花台方面宮崎大学・大学病院」行  
宮崎交通バス 822 番線  
「まなび野方面宮崎大学・大学病院」行  
宮崎交通バス 832 番線  
「清武方面宮崎大学・大学病院」行

外来駐車場ではなく、こちらに停めていただいたほうが便利です。

